

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	地球環境対策のための自動車に係る二酸化炭素等の排出量低減対策及び新燃費目標設定に関する調査		<b>担当部局</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成12年度		<b>担当課室</b>	環境政策課		課長 江角 直樹		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3(9)地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>			<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	自動車からのCO2等の温室効果ガスの排出量低減対策や新たな燃費基準設定に関して有用な調査等の施策を行うことで、運輸部門のCO2排出量の約9割を占める自動車交通分野での温室効果ガスの排出削減を目指す。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	地球温暖化防止のため、日本の二酸化炭素排出量の約2割を占める自動車からの排出量の削減が求められており、中でも、トラック等の重量車は1台当たりの排出量が大きく、更なる削減が重要である。また、二酸化炭素以外の温室効果ガスである一酸化二窒素についても、排出実態の把握や低減に向けた対策が求められている。そこで、最新の排ガス規制に適合したトラックから排出される一酸化二窒素、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量についての調査を行った。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	3	4	4	4	4	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	3	4	4	4	4	
	執行額	0.2	-	4	-	-		
執行率(%)	6.8%	-	92.6%	-	-			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	重量車の平均燃費向上率(平成14年度比) (平成22年度政策チェックアップ 業績指標53)		成果実績	%	1.4	4.8	-	7
			達成度	%	20	68.5	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査件数		活動実績 (当初見込み)	件	0 ( 1 )	0 ( 1 )	1 ( 1 )	( 1 )
<b>単位当たり コスト</b>	4 (百万円/件数)		算出根拠	執行額を調査実施件数で除算したもの				
<b>平成 23・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.05	0.05					
	地球温暖化防止等対策調査費	4	4					
	計	4	4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>自動車から排出される温室効果ガスは、日本の温室効果ガス排出量の約2割を占める運輸部門の約9割を占めており、地球温暖化防止のため、より一層の削減が求められており、本事業は今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>今後の基準化に向けた調査であり、公益性を担保する必要があることから、最低限の条件を付した上で、一定の公益性を有する事業者の中から一般競争入札により事業者を公正に選定しており、同入札において、併せて経費の削減を図っている。</p> <p>なお、昨年度の行政事業レビューにおいて「事業実施に際しては、競争性のある契約方式を活用するなど、経費の削減を図るべき」との点検結果であったことから、今後の検討に必要な最低限の範囲に絞って実施しており、実効性・効率性を高める工夫を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの見解			
一部改善		<p>昨年の指摘を踏まえた改善がなされており、今後も引き続き競争性のある契約方式を活用するなど実効性・効率性を高め、経費の合理化に努めるべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの見解を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>実効性・効率性を高め、経費の合理化に努めているところ、24年度要求において調査対象項目を変更した結果、前年度と同規模の要求となった。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通本省

4百万円

〔事業の企画・立案、進捗管理・指導〕



〔一般競争入札・委託〕

A.(独)交通安全環境研究所  
4百万円

〔地球温暖化対策関係〕

日本の温室効果ガス排出量の約2割を占める自動車からの温室効果ガス排出量の削減を図るため、最新の排ガス規制に適合したトラックから排出される一酸化二窒素、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量についての調査を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	試験施設使用料、試験車両借料、 エンジンベンチ改造等	3			
その他	一般管理経費	1			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	交通安全環境研究所	調査の実施	4	1	98.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					